

授業科目名	初等教科教育法(生活)
科目番号	CB23541
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋AB 土3,4
担当教員	遠藤 優介, 粕谷 昌良, 志田 正訓
授業概要	本授業では、小学校における生活科教育の意義、目標、指導内容について理解を深めるために、講義と生活科教育の諸活動を通して教材研究及び指導法の演習を行う。
備考	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 実務経験教員 対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学の基礎的体系的知識、教育学的実践力
授業の到達目標(学修成果)	初等教育における生活科の使命と目標を考察し、演習により教材研究の仕方及び指導法を習得する。また、具体的な授業をどう構成していくか基礎的な技能を習得する。
授業計画	本講義は、対面型授業である。授業の詳細については、manabaを参照のこと。 第1回 オリエンテーション 第2回 初等教育における生活科教育の意義と内容 第3回 内容1(学校生活)に関する教材研究と指導法 第4回 内容2(家庭生活)に関する教材研究と指導法 第5回 内容3(地域生活)に関する教材研究と指導法 第6回 内容4(公共物)に関する教材研究と指導法 第7回 内容5(季節と生活)に関する教材研究と指導法 第8回 内容6(身近な自然を利用したものづくり)に関する教材研究と指導法 第9回 内容6(身近にある物を使ったものづくり)に関する教材研究と指導法 第10回 内容7(植物の栽培)に関する教材研究と指導法 第11回 内容7(動物の飼育)に関する教材研究と指導法 第12回 内容8(身近な人々との交流)に関する教材研究と指導法 第13回 内容9(自分自身の成長)に関する教材研究と指導法 第14回 評価について 第15回 授業の構成と年間カリキュラム 第16回 模擬授業についてのグループ研究(指導案の書き方) 第17回 模擬授業についてのグループ研究(板書、発問等) 第18回 模擬授業(発表)と研究討議(授業構成と指導法) 第19回 模擬授業(発表)と研究討議(授業の構成と指導法) 第20回 まとめ
履修条件	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る。
成績評価方法	レポート(50%)、模擬授業への準備・取り組み及び実践など(50%)で総合的に評価する。 総点において90点以上をA+、80点以上90点未満をA、70点以上80点未満をB、60点以上70点未満をC、60点未満をDと評価する。 なお、出席回数が授業全体の2/3未満である場合には、評価の対象としない。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業内で扱った内容に関して復習をすること。興味を持った内容に関して、授業内で紹介する参考書等を手掛かりに深く調べてみることを。

教材・参考文献・配付資料等	<p>1、2の文献については、講義が始まる前まで、購入しておくことが望ましい。その他の参考書等については、授業内で適宜紹介する。</p> <p>1. 文部科学省、『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説生活編』、東洋館出版社、2018年。</p> <p>2. 片平克弘・唐木清志編著、『MINERVAはじめて学ぶ教科教育10 初等生活科教育』、ミネルヴァ書房、2018年。</p>
オフィスアワー等（連絡先含む）	<p>遠藤（木曜11:30～12:30）人間系学系棟B422</p> <p>遠藤 優介</p>
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	<p>小学校教員免許取得に向けて意欲的に学ぶことが望まれる。</p>
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	<p>TA配置有り(1名)</p>
キーワード	<p>小学校、生活科、初等教科教育法</p>